

平成27年6月
号外(は)



山家神社社務所
sanadashrine.com/yamaga
〒386-2201 上田市真田町長 4473
Tel.0268(72)5700

山家 慎閑

山家郷塾理念

一、自然の恵みと祖先の恩に感謝し、日々お蔭さまの心を以て郷生の道を歩むこと
一、地域の歴史・文化・伝統を学び考へ今を照らし、故郷の振興と再生を図ること
一、永遠と続く歴史の中にある今を意欲し、祖先から受け継いだモノを守り伝えること

山のおかげ

本日は、四阿山奥宮造営のご奉仕を賜り、厚く御礼申し上げます。皆様の真心の籠った御社、昔ながらの木造で神威新たに後世に伝わること、楽しみにして下さい。

今回ご奉仕いただきました皆様のお名前は、奉書に記入し、社殿の中に納めたいと考えております。再び四阿山に登拝の際には、扉を開けてみていただいても構いません。子孫代々、皆様の蔭ながらに積まれた徳を伝え、山を敬う気持ち、自然と共に生きる心が、未来永劫受け継がれていくことを願います。

私にとって四阿山は「生かされている」と感じる、神主として大切なことを教えてくれるところでもあります。その深き恵みは皆様との尊い御縁をもたらしました。山川、吾妻川、米子川の流れるように、清く広大な御縁に感謝致します。

山家神社宮司 押森 慎

四流絶頂の雨

勉強っぽくてすみません！
一応四阿山の由緒です！

○名前の由来

四阿山は水分神（みくまりのかみ）として、広い崇敬を受けた御山であります。江戸時代に記された『四阿山縁起』には左のように書かれています。「この山より流れ出す川」

滝沢 大明神川 一致して加賀川（神川）と云う北の方へ落る川を 越川 と云う南へ落る川は 上州利根川 の上なり合せて 四流絶頂の雨 を垂ると云う」

その名前の由来には様々な説がございますが、信仰の面から感じるところでは、この四つの川の流れにより、平穏な暮らしを支えることから、四阿山と呼ばれるのではないかと感じております。

「四流」の「四」には四海波静「天下がよく治まると平和である」四方の海が波立たずに静かな状態にある」に通じるものがあります。

現在でも川の長さ一位信濃川二位利根川、流域面積一位利根川三位信濃川を支えている山であり、生きとし生けるものの命を支える尊い御山であります。実際にその広い信仰を物語るものとして、昭和初期まで奥宮に納められていた鱧口は、文安三年（一四四六）に現在の埼玉県毛呂山町より奉納されたものです。「奉施入「四阿山」御宝前」とあり

昭和三年の記録には、旧時五十七ヶ村、外に佐久郡埴科郡更科郡高井郡水内郡及び群馬県の吾妻郡利根郡一帯より参拝者がいたとあります。

○開山の祖
往古、山は神住まうところとして立ち入らず、神の世界と人の世界との境を決めお祭りしていたことは風土記等からうかがうことができます。仏教伝来により山へ登り道が開かれるようになった養老二年（715）に、四阿山は加賀の白山を開山された泰澄大師のお弟子さんの臥行者（ふせりのぎょうじや）と呼ばれた浄定（きよさだ）行者によって登拝開山され、白山比咩神社の神霊を勧請したと云われています。実はこの行者さん、十八年後に箱根湯本の温泉を開いた徳のある人です。釈浄定坊（しゃくじょうじょうぼう）

○お祀りしている神様
明治初年まで伝わっていた神送り神迎えという神事があり、地域の伝承では六月には親神様を里宮から涼しい奥宮へ送り、子神様を里宮に迎え、十一月にはお戻しすると云われています。

明治期の神社取調書によると、奥宮には東宮（信州向）西宮（上州向）の二社があり、その中間に俗に石積社と称する太古の建造と云う古洞があり、こは草創の大己貴（大國主）神を祀った最古の斎場であると書かれています。また東宮には伊邪那美神を、西宮には菊理媛神を祀ると『信濃奇勝録』には出ています。山家神社の三柱のご祭神をはじめ八百万の神々が鎮まる空間が現されているようです。

○道中にある石祠は？
山中には末社が東の門及び西の門より頂上に至る間に百二十社あります。創立後より風雷地震に為損なうものが多く、安永三年奥宮別当松尾氏が上野國吾妻郡碓氷郡信濃國小県郡埴科郡更科郡伊那郡高井郡等の崇敬者、遠くは播州加古郡新庄村の人々の寄進を受けて石の祠を全部再建した寄進帳（祭神・ご利益等記載）が山家神社宝物として現存します。

○山頂の境内地
四阿山は真田信綱公昌幸公信幸公が山家神社（白山権現）別当職の安堵状を出していることから分るのように、白山権現の鎮まる御山でありました。時代とともに官有地等へと召し上げられ、現在は山頂の真田町長十ノ原一二七八番地五六五号の三十三坪が山家神社境内地として残っております。

東宮改修へ

大正年間
奥宮位置図一

五十四代目の宮司としての使命は奥宮を改修し、四阿山の信仰を伝えていくことです。大河「真田丸」放映の年に、東宮造営を目指します。ご協力をお願いいたします。

- ◆奉賛金受付
一口二〇〇〇円
- ◆荷上奉仕募集
本年同様の形を検討

「御礼として奥宮木札守を授与します」
※造営期間は木札守（奉賛金）お気持ちで

